

## 海外大学出願に必要な英語力

海外大学の多くは出願時に大学指定の英語要件を満たしているかを証明する、IELTS や TOEFL 等のスコア提出が義務づけられています。

一般的に大学学部へ直接入学をする場合は IELTS6.0 以上、学部入学の為の準備コース（ファウンデーション、ディプロマコース）へ入学する場合は IELTS5.5～6.0 を要します。目安として英検 2 級の合格者が IELTS を受験した場合、スコアは平均して 5.0～5.5 程度とされています。

なお、北米の様に学部入学の為の準備コース（ファウンデーション・ディプロマコース）が存在せず、直接学部入学を目指すかパスウェイプログラムを経由する教育制度の国もあります。

### <英語条件目安>

国名	ファウンデーションコース入学		大学学部入学	
	IELTS	TOEFL iBT	IELTS	TOEFL iBT
オーストラリア	5.5～	50～	6.0～6.5	80～93
ニュージーランド	5.0～	70～	6.0～6.5	80～93
マレーシア	4.0～	31～	5.5～	80～
イギリス	6.0～	-	6.0～6.5*	80～93
アメリカ	-	-	6.0～6.5	61～80
カナダ	-	-	6.0～7.0	80～100

※ 一般的な専攻の場合の目安スコアですので、専攻によっては基準が異なります。特に教育学部、法律学部、医学系の学部は、上記英語力よりもさらに高いスコアを求められる場合もあります。

※ ファウンデーション・ディプロマコースは 6 ヶ月や 1 年半など様々な期間のコースがあり、コース期間によって出願時の英語要件が変わります。

※ IELTS のスコア規程においては、技能毎に追加の要件がある場合があります。例) IELTS5.5(writing 5.0 以上)

※ イギリスは基本 IELTS UKVI のスコアのみが適応されます。

英語スコアが不足していても、現時点でのスコアで願書を提出し、入学までに入学基準に達することができれば大学（またはファウンデーション・ディプロマコース）へ入学ができる、条件付きで入学が許可される制度を設けている国も多くあります。

また、英語スコアが足りない場合は、一旦、留学生向けの英語コースを受講し英語力を身に付けてから、

大学学部（ファウンデーション・ディプロマコース）への入学を目指すことも可能です。ただし、英語コースの授業は卒業単位に換算されない場合がほとんどですから、その分、卒業までの期間が延びることになります。

IELTS や TOEFL は日本で何度でも受験できますので、何度か受験をすることで自分の英語習得状況を把握することが可能です。一度で高い点数を目指すのではなく、何度か受験することで対策を取り、勉強を進めることをお勧めします。